雇用機会拡充事業計画書 (記載例)

1 申請者

①申請者概要

ふりがな 氏 名 (代表者氏名)	ぉ ぢ ゕ たろう 小値賀 太郎		性別	■ 男□ 女	生年月日 (年齢)	□大正、■昭和、□平成 年 月 日(歳)
(4/1以降に創業済みの場合) 会社名		_			区分	□1. 法人 ■2. 個人
油 级失 位 而生		F○○○一○○○○ N値賀町○○郷△△番地			現在の職業	■1. 会社役員 □2. 個人事業主 □3. 会社員 □4. 専業主婦・主夫
連絡先住所等	T E L F A X E-mail				坑仁 の戦未	□4. 専業主婦・主天 □5. パートタイマー・アルバイト □6. 学生 □7. その他()
現在の事業概要 (既に事業を営ん でいる場合)	□ 現在の事業形態□株式会社、□合同会社、合資会社、合名会社、□一般社団法人・財団法人、□特定非営利活動法人、□協同組合、□その他□ 現事業の年数□ 現事業の内容					般社団法人・財団法人、
職歴	□昭・□平 年	Ħ				
	□昭・□平 年	月				

②実施形態

開業·法人設立日 (予定日)		平月	成〇(O年 O月 O日			
申請区分		. 創業 . 特定有人		2. 事業拡大 □3. 事業拡大 離島地域外の創業	大(設備投	資を伴わない)	
事業実施地 (予定地)		000-C 直賀町OC		_		■1. 個人創業 □ ■ 補助事業期間中の 法人化も検討している □2. 会社設立	
産業分類	製造業 — 千円				- 事業	□ □2-1 株式会社 □ □2-2 合名会社 □2-3 合資会社	
产 本分類					形態	□2-4 合同会社 □3. 事業承継	
資本金又は 出資金						□3-1 個人承継 □3-2 法人承継 □4. 事業拡大	
株主又は 出資者数	_	- 名			_	□4. 争来が入 ┗□4-1 規模・能力拡大 □4-2 新事業進出	
				①個人業主	名	⑤正社員・正職員以外 (事業拡大する部署の従業者	名 名)
役員•				②無給の家族従業者:	名	⑥臨時雇用者	名
従業員数	合		内	(事業拡大する部署の従業者	名)	(事業拡大する部署の従業者	名)
※従業員等の区分は 別添による	н -		計 訳 訳 名	③有給役員	名	⑦派遣従業者名 (事業拡大する部署の従業者	名 名)
		11		④正社員·正職員 (事業拡大する部署の従業者	名 名)		

2 事業内容

① 事業名

カンコロ製造事業

② 事業概要 (事業拡大の場合、既存事業と新たに拡大する事業の区別が明確になるように記載して下さい。)

カンコロ餅の原料として使用されているカンコロを安く安定的に供給できるよう機械導入を伴った生産ラインの構築を行います。

③ 事業性

島内または五島列島内においてカンコロの製造事業は多数存在するが、島内の生産力は低く、島内の需要量に対して島内の供給量が不足しておりカンコロ餅製造事業者は、島外から仕入れています。そのため今回の支援により生産力の向上と販売単価の低減化及び雇用の創出を目指します。

4成長性

町内におけるカンコロ餅全体の生産量が〇〇トンであることから原料であるカンコロの仕入量は〇〇トンあると推測されます。

現在、町内でのカンコロ製造量は〇〇トンと少なく、ほとんどは町外から仕入れていることが分かります。その主な理由は生産量と価格が関係していますが、今回の支援による生産ラインの構築と原料芋を島外から仕入れることにより現在の市場単価の半分まで下げることができ、他産地と同品質以上の商品の提供が可能となります

町内カンコロ消費量 〇〇トン 生産原価:〇〇円 生産量:〇〇トン カンコロ市場単価 △△円/キロ 販売価格:△△円 取引事業者:△△社

市場流通額 〇〇万円 売上額:〇〇万円

④ 継続性

町内のカンコロ餅製造事業社の数社と上記の単価での供給が可能であるという条件付きで交渉済みであるため、売上額〇〇万円を見込める確実性は高く、各社とも後継者がいることから継続して取引を行えると考えます。

取引事業社数の見込 H29 〇〇社 売上額の見込 H29 〇〇万円

H 3 0 △△社 H 3 1 □□社 H 3 1 ○○万円

取引数量の見込 H29 〇〇トン

H30 △△トン H31 □□トン

⑥地域性

カンコロ餅は、長崎や五島列島に古くから伝わる郷土菓子であり特産品として有名です。 特に九州県内におけるカンコロ餅の認知度は高く、物産展などでも欠かせない商品となっています。 町のカンコロの歴史的影響により文化的景観地域にも指定されるほどカンコロの歴史は長く、町の振 興には必要なものだと考えます。

⑦雇用創出人数

事業開始後、新たに週20時間以上、勤務する常 用雇用数を記載して下さい。

3名

8雇用時期

平成29年12月~

⑨本事業全体に係る資金計画

(単位:千円)

	必要な資金金額		調達の方法	金額
設備資金		1, 000 3, 000 2, 000	自己資金 金融機関からの借入金 (調達先) うち、特定有人国境離島地域事業活動支援 利子補給金 その他(本事業の売上金、親族からの借入金等)	1,000 1,800 (〇〇銀行)
	設備資金の合計	6, 000		
重転資金	印场测宜复	600 500 200	◎交付金申請額 (経費明細と一致させてください。)	4, 500
	A 合 計	7, 300	合 計	7, 300

١	(金融機関か	らの外部資金の調達	見込みについて
ı		フッルル は 水 小 剛 注	プレメングバー フロ・しょ

☑ 既に調達済み

□ 補助事業期間中に調達見込みがある

□ 将来的に調達見込みがある

□ 特定有人国境離島地域事業活動支援利子補給金の利子助成制度を利用(予定)

	(千円)
補助金交付希望相当額の手当方法	金額
自己資金	1, 000
金融機関からの借入金 調達先:〇〇銀行	3, 500
調達先:	
合 計	4, 500

⑩事業スケジュール

(申請に係る事業計画が1年間であっても3年間(これを超える場合には5年間)の計画を策定して下さい。)

実施時期	具体的な実施内容
1 年目	カンコロを安定的に製造するために、現在倉庫として保有している建物を作業場として活用できるよう 改修し、機械導入を行う。
2年目	カンコロ製造開始。 町内の事業者へ販売。 〇名追加雇用
3年目	長崎県内のカンコロ餅事業社へ営業を行う。 取引量の増加による生産量の拡大。
4 年目	
5 年目	

⑪事業計画 直近年 1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 (H32)(年月~年月 (H29)(H30)(H31)(H33)(年月~年月 (年月~年月 (年月~年月 (年月~年月 (年月~年月 期) 期) 期) 期) 期) 期) 千円 千円 千円 千円 千円 千円 売上高 000 000 000 000 営業利益① 000 000 000 000 経常利益 000 000 000 000 人件費② 000 000 000 000 減価償却費③ 000 000 000 000 付加価値額 000 000 000 000 (1+2+3)設備投資額 000 000 000 000 4人 3人 4人 一人 従業員数 (うちパート・アルバイト (うちパート・アルバイト 3人) (うちパート・アルバイト 2人) (うちパート・アルバイト 3人) (うちパート・アルバイト (うちパート・アルバイト Y) 常用雇 3人 4人 4人 一人 展用 人類 別出 用者数 上記 0人 0人 0人 一人 以外

3 他の補助金等の利用状況 (該当案件がある場合のみ記載)

<国の補助金1>

補助金の名称				
補助率				
補助金額				
交付決定日	平成	年	月	

<都道県・市町村の補助金1>

	'			
補助金の名称				
補助率				
補助金額				
交付決定日	平成	年	月	

<国の補助金2>

補助金の名称				
補助率				
補助金額				
交付決定日	平成	年	月	

<都道県・市町村の補助金2>

補助金の名称				
補助率				
補助金額				
交付決定日	平成	年	月	